

令和5年度 事業報告書



社会福祉法人 ほうりんかい 峰林会

特別養護老人ホーム峰林荘
短期入所生活介護事業所
峰林荘通所介護事業所
あかり居宅介護支援事業所
ゆうゆうケア・ワン

法人理念

「他人（ひと）を思いやる心」

1. ここでは、みんなが家族です
2. 明るく豊かな生活を目指して
3. 地域、家族の幸せを目指して
4. 健康で明るい地域福祉の発信所

目次

I. 法人.....	3
II. 特別養護老人ホーム峰林荘.....	6
III. 峰林荘短期入所生活介護事業所.....	9
IV. 医務課.....	10
V. 栄養管理課.....	10
VI. 各種委員会.....	12
VII. 峰林荘通所介護事業所.....	17
VIII. あかり居宅介護支援事業所.....	19
IX. デイサービスセンターゆうゆうケア・ワン.....	19

〈 令和5年度 峰林会 事業報告 〉

令和5年度の峰林会は、役員及び家族会並びに地域の皆様に温かく見守り続けていただくとともに、職員の皆様のお陰で法人化50周年を迎えることができ、敬老会と併せて50周年記念式典を開催することができました。式典実施のために役員で「50周年記念式典実行委員会」を組織し、5回の実行委員会を開催しました。式典では守谷市長を初め多くの来賓者にご出席いただき、役員及び職員等の表彰を行いました。また、敬老会では敬老者の表彰とアトラクションを行い、入居者も久しぶりの演奏会で楽しく過ごすことができました。

峰林会の事業所運営では、物価高騰により食材費が値上がりしたことから、食費の値上げを行いました。さらに、借入金の借換えにより利息の返済額を減らすことができました。

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から感染症分類上の5類へ移行されましたが、前年度に引き続き、嚴重な感染症予防対策を行いながらの運営となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生してしまい、家族の面会を何度も制限することになりました。また、外部との交流も制限する状態が続き、法人理念に掲げる地域に開かれた施設運営も思うように実施することができずでしたが、音楽ボランティアなど少しずつ受け入れを再開しました。

在宅系サービスでは、市内の感染状況に連動し、同居ご家族の感染による濃厚接触者としてサービスの休止を余儀なくされる利用者も多く発生しました。

また、現在、入居者の高齢化と重度化が進み、入居者の入居期間の短縮傾向がみられ、多くの入居者が入院または永眠により退居され、これに伴う空床の発生が生じましたが、入所検討委員会を毎月開催し、待機者の中からもなるべく早く入居できるように取り組みました。

今後も安定した法人運営のためには、今ある法人の社会資源を最大限有効に活用することが必須であり、そのためには、適宜、現状を見直し、改善や新たな取り組みを行いながら、スピード感のある入居受け入れをすることが求められています。

令和5年度の実績をしっかりと振り返り、令和6年度は安定的な運営を目指して参ります。

I. 法 人

1. 理事会の開催

第1回（令和5年4月16日）理事5名 監事2名

議案第1号	菊地施設長（理事）療養による施設長不在への対応について	可決
議案第2号	評議員会の招集について	可決

第2回（令和5年5月27日）理事5名 監事2名

議案第1号	令和4年度事業報告について	承認
議案第2号	令和4年度決算報告について	承認
議案第3号	定時評議員会の招集について	可決
議案第4号	理事選任案及び監事選任案について	可決
議案第5号	施設長の任免と業務執行理事の選任について	可決
議案第6号	運営規程の変更について	可決
協議事項	書面議決の役員報酬について	
報 告	理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	

第3回（令和5年9月3日）理事5名 監事2名

議案第1号	借入金の借換えについて	可決
議案第2号	食費の値上げについて	可決
議案第3号	理事を選任する評議員会議案について	可決
議案第4号	臨時評議員会の招集について	可決
報 告	理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	

第4回（令和5年11月26日）理事6名 監事1名

議案第1号	令和5年度収入支出補正予算について	承認
議案第2号	特別老人ホーム峰林荘短期入所生活介護事業所 運営規程の一部改正について	可決
議案第3号	社会福祉法人峰林会峰林荘通所介護事業所 運営規程の一部改正について	可決
議案第4号	社会福祉法人峰林会ゆうゆうケア・ワン 運営規程の一部改正について	可決
議案第5号	社会福祉法人峰林会役員等報酬規程の一部改正について	可決
議案第6号	定時評議員会の招集について	可決
報 告	理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	

第5回（令和6年3月14日）理事4名 監事2名		
議案第1号	令和5年度第2回収入支出補正予算について	承認
議案第2号	令和6年度事業計画（案）について	承認
議案第3号	令和6年度収入支出補正予算（案）について	承認
議案第4号	居住費の改正について	可決
議案第5号	すずらん訪問介護事業所の廃止について	可決
議案第6号	社会福祉法人峰林会経理規程の一部改正について	可決
議案第7号	社会福祉法人峰林会役員等報酬規程の一部改正について	可決
議案第8号	評議員会の招集について	可決
報 告	理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	

2. 評議員会の開催

第1回（令和5年4月26日）書面決議 評議員7名 監事2名		
議案第1号	理事の選任について	可決
報告第1号	業務執行理事について	承認

第2回（令和5年6月11日）評議員5名 監事2名		
議案第1号	令和4年度事業報告について	承認
議案第2号	令和4年度決算報告について	承認
議案第3号	理事選任及び監事選任案について	可決
協議事項	書面議決の役員報酬について	
報告第1号	施設長の任免と業務執行理事の選定について	承認
報告第2号	運営規程の変更について	承認
報 告	理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	

第3回（令和5年9月3日）評議員7名 監事2名		
議案第1号	理事の選任について	可決
報告第1号	借入金の借換えについて	承認
報告第2号	食費の値上げについて	承認
報 告	理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告	

第4回（令和5年11月26日）評議員7名 監事1名		
議案第1号	令和5年度収入支出補正予算について	承認
議案第2号	社会福祉法人峰林会役員等報酬規程の一部改正について	可決
報告第1号	特別養護老人ホーム峰林荘短期入所生活介護事業所 運営規程の一部改正について	承認

報告第2号	社会福祉法人峰林会峰林荘通所介護事業所 運営規程の一部改正について	承認
報告第3号	社会福祉法人峰林会ゆうゆうケア・ワン 運営規程の一部改正について	承認
第5回（令和6年3月24日）評議員5名 監事2名		
議案第1号	令和5年度第2回収入支出補正予算について	承認
議案第2号	令和6年度事業計画（案）について	承認
議案第3号	令和6年度収入支出補正予算（案）について	承認
議案第4号	社会福祉法人峰林会役員等報酬規程の一部改正について	可決
報告第1号	居住費の改正について	承認
報告第2号	すずらん訪問介護事業所の廃止について	承認
報告第3号	社会福祉法人峰林会経理規程の一部改正について	承認
報 告	理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	

Ⅱ. 特別養護老人ホーム 峰林荘

入居者が安心・安全に生活していただけるよう、入居者の毎日の暮らし、季節ごとの内容の見直しを行った。また、5月より新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、行事、家族の面会方法の検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症のクラスターが起きると一定期間、行事や面会中止を余儀なくされた。制約のある中で、質の高いサービスを目指し、職員間のコミュニケーションを大切にし、家族への状況報告にも努めた。

ボランティアの受入れを11月から再開し音楽ボランティアと華道クラブの指導を月に1回ずつ依頼することができた。また、守谷市シニアボランティアポイント制度を活用した不定期の音楽ボランティアを3月に受入れた。

1. 入居者概況（令和6年3月末）

(1) ユニット棟：39床（定員:40床）

①要介護度状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	1	8	3
女	0	11	5	11
計	0	12	13	14
割合（%）	0	31	33	36
平均介護度	4			

②保険者別入居者状況

	守谷市	中野市	横須賀市	富岡町
男	9	0	0	0
女	27	1	1	1
合計	36	1	1	1

(2) 地域密着棟：20床（定員20床）

①要介護度状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	3	0	2
女	1	7	3	4
計	1	10	3	6
割合（%）	5	50	15	30
平均介護度	3.7			

②保険者別入居者状況

	守谷市
男	5
女	15
計	20

2. 全体行事

(1) 施設内行事

一年を通して、新型コロナウイルス感染症予防のため、家族と一緒に楽しむ行事は行うことができなかった。峰林荘内での行事も中止や縮小が続いた。

桜花見会は、例年に比べて桜の満開が早く、3月中に各ユニットで天気の良い日に満開の桜を見に散歩に出かけた。花見会は4月にバイキングやお楽しみ会として開催した。

敬老会は、峰林会設立50周年の節目にあたり50周年式典と一緒に敬老会を行った。9月18日に節目に当たる年齢の入居者6名のお祝いと、ユニットごとに敬老会を楽しんだ。また、家族会より記念品のプレゼントをいただいた。

夏祭りは開催しないで、気候のいい秋に秋祭りとして開催した。10月26日、ユニット毎に地域交流ホールで45分間の入れ替え制により、たこ焼きや団子を食べたり、ゲーム（魚釣り、輪投げ、ボルトス）をして楽しんでいただいた。

クリスマス会は、12月22日に各部署で開催した。クリスマスソングが流れる中、クリスマスプレゼントとケーキで楽しんでいただいた。

(2) 地域との関係（夏祭り）

地域と一緒に楽しんでいた夏祭りは、令和5年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、中止し入居者と職員で秋祭りを実施した。なお、香取神社祭礼における御神輿と山車を受け入れて入居者に楽しんでいただいた。

3. 地域との取り組み

(1) 地域行事への参加

新型コロナウイルス感染症対応により中止

(2) 地域との連携

①大野地区街づくり協議会及び上坪地区自主防災組織の取組みに参加し、地域との連携を図った。

②総合防災訓練

施設内（入居者、職員）で実施

③カスミの移動スーパーと移動販売ニコパ（各週1回）

地域の方々が安全でより気軽に買い物をできるように場所を開放した。

4. ユニット棟 もみじ

- ・入居者一人ひとりの意思を可能な限り尊重し、その都度状態の変化に応じたケアを提供するようになった。
- ・ユニット会議は毎月開催することはできなかったが、他部署との連携を図ると共に申し送りノートを活用して情報の共有に努めた。
- ・毎月の誕生会や季節の行事を部署内で開催した。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、外出する行事はできなかったが、散歩など気分転換がで

きるようにした。

- ・24時間シートの内容の見直しは行ったが、活用には至らなかった。

5. ユニット棟 ひまわり

- ・24時間シートの内容の見直しや更新は一部しかできなかった。
- ・連絡ノートを活用し、情報共有に努めた。
- ・職員へ外部研修の参加、内容の共有を行った。
- ・入居者に快適に過ごしていただくために、季節感のある環境づくり、イベント、誕生会を開催した。
- ・感染症予防対策に努めたが新型コロナウイルス感染症が2月下旬から3月まで続いた。

6. ユニット棟 すみれ

- ・入居者に安心して過ごしていただくために、備品の修理や買換えをし環境整備を行った。
- ・ユニット会議は毎月の開催はできなかったが、職員間のコミュニケーションをとって入居者情報の共有とケア方法や介護時間の統一に努めた。
- ・ユニット費を活用して、パズルやミニゲームなどレクリエーション用品を充実させ、入居者の楽しみを増やした。
- ・お楽しみ会でオードブルを提供した。
- ・2か月に一度、入居者が個々に選んだコンビニスイーツを注文し楽しんだ。
- ・24時間シートの作成は職員各人が担当入居者への聞き取りを行い、途中まで作成した。

7. ユニット棟 花みずき

- ・入居者の食事・排泄等のケア方法の見直しを定期的に行い、最適化を図った。
- ・申し送りノートを活用することで職員間でコミュニケーションをとり、情報共有に努めた。
- ・日々の楽しみとして月1回のコンビニデザートを行った。
- ・24時間シートを作成することはできたが、活用には至らなかった。
- ・感染症対策として職員のマスク着用と手洗い、消毒を徹底した。ユニット内の清掃、消毒も行った。

8. 地域密着棟

- ・新型コロナウイルス感染症予防として手指消毒、職員のマスク着用、施設内の消毒を実施した。
- ・アクティビティを活用したケアとして、日替わりで歌や体操、口腔体操など各職員がアイデアを出して行った。
- ・毎月のお楽しみ会と入居者の誕生会の開催の他、季節の行事を部署内で実施した。
- ・多職種と連携を取り、入居者の状態や現状の報告を家族に密に行うようにした。
- ・家族の面会制限の中、地域交流ホールでの面会で対応した。
- ・入居者の日用品、消耗品の管理、調整を行った。

9. 地域密着型運営推進会議

2か月に1回、峰林荘地域密着型入居者のサービスの質の確保・向上を図るため会議を開催した。会議の構成員である守谷市介護福祉課職員、峰林荘地区担当民生委員、入居者家族代表者参加のもと、峰林荘地域密着型の状況と取り組みを報告するとともに要望等を伺った。要望では、施設において入居者が新型コロナウイルス感染症に感染した時の面会方法や生活状況を知りたいとの意見があった。

10. 入所検討委員会

令和5年度の委員会開催 7回（6月 7月 8月 9月 11月 1月 3月）

6月、3月の2回は、新型コロナウイルス感染症予防のため書面で開催した。

直接、入所待機者本人と面接できる機会も徐々に増えてきたが、家族、病院、施設、事業所、担当介護支援専門員等からの聞き取りを行い適正な入所決定を行った。

入所申込者状況（各年度末）

年度	令和3年	令和4年	令和5年
入所待機者数	65名	47名	55名

11. 家族会

令和5年度も新型コロナウイルス感染症予防により、峰林荘内への立ち入りが制限され、家族を招いた行事は、法人化50周年の節目に開催した敬老会のみだった。他の行事は峰林荘内で行い、家族と交流を図ることが難しい一年だった。面会も施設内の感染状況に応じて、面会を中止とした時期もあった。

家族会費は、施設内行事（4月花見会 9月敬老会 10月秋祭り 12月クリスマス会）の食事代、お菓子代、花代、景品代、プレゼントとケーキ代、毎月の誕生会用ケーキ代として入居者の楽しみのある生活に使用した。また、今年度は職員向けに外部講師による身体拘束、虐待研修、感染症や災害時の対策への研修を行い、その研修費としても活用した。

Ⅲ. 峰林荘短期入所生活介護事業所

新型コロナウイルス感染症によるクラスターの影響により、利用者数が減少した。

短期入所施設（地域密着型併設5床・ユニット型空床）月稼働状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延利用者数	146★	132★	62	120	168★	139★
稼働率（%）	97.3	85.1	41.3	77.4	108.3	92.6
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数	141★	117	115★	150★	132★	145★
稼働率（%）	90.9	78.3	74.1	96.7	91.0	93.5

※延べ利用者数：ベッド稼働日数★施設空床分を含む

平均利用延人数 130人/月・平均稼働率 85.5%（前年度 146人/月・95.8%）

IV. 医務課

協力医療機関である「総合守谷第一病院」「相良歯科医院」を中心に市内の医療機関と連携を取り、入居者一人ひとりに寄り添った看護の提供を行った。

新型コロナウイルス感染症予防対策については、令和5年5月8日以降、5類感染症に移行となったが重症化リスクが高い高齢者が生活していることから、今までの感染対策を継続してきたが、職員、入居者の発症を防ぐことはできなかった。感染が判明した時点で徹底した感染対策を指導し、入居者の状態把握と異常の早期発見に努めた。さらに、職員、入居者への抗原検査を実施し、嘱託医と連携を密に行い、早期治療の開始ができたことから、重症化になることはなかった。職員の職場復帰の際の抗原検査の実施、療養期間などの指導を行った。

1. 主な取り組み

(1) 医務会議の開催

日々のカンファレンスで、気付きの報告・課題点の共有を行い、対応策を検討した。

(2) 褥瘡対策

毎日カンファレンスを行い、入居者の情報を共有し、早期発見に努め対応策の検討を行い介護員へ情報提供をして対応策を講じた。

(3) 新型コロナウイルスワクチン接種

合計2回の準備・介助（利用者・職員）

(4) 入居者の通院介助

入居者の通院に付き添い、情報提供を行い治療内容などの把握に努めた。

2. 定例的な取り組み

(1) 入居者・職員の定期健康診断（さくらがわ地域医療センター健診部）

入居者：11月 職員：5月、11月

(2) 入居者の体重測定（1回／月、または状態変化時）

(3) 入居者、職員の感染症対策：インフルエンザ予防接種実施（11月）

V. 栄養管理課

1. 季節を感じて楽しめる献立・食事の提供

献立は、地域の方にいただいた食材と旬の野菜や果物など使い、美味しく楽しい食事になるよう献立を作成した。人員不足により週に3回だった夕食の弁当は、週1回に減らした。調理員の確保及び能力が整い次第、弁当対応を終了し通常の献立に戻していきたい。

月に1回の選択食（麺類）や、週1回の手作りおやつを実施し、提供方法や盛り付けの工夫で季節感を味わえる安全かつ美味しい食事提供を行った。今後は、行事などで

新メニューを取り入れたり、新しい食材の採用など献立レパートリーの幅を増やたい。

食材価格の高騰が止まらず、スーパーや各仕入れ業者の価格を見極め、こまめに品物の品質と価格の検討・チェックを行い、随時献立変更を行った。また、仕入れ業者より市場の動きや企業の情報をいただき、そこで品物の選定を行った。品質が悪く価格の高い品物を継続的に納品する業者については、声掛けや随時選別を行った。

2. 個人のレベルに合わせて食べてもらう工夫

嗜好の個人差や身体的機能の低下により食べる行為そのものが困難になった入居者に、少しでも食事を食べていただけるように、こまめに食事観察を行った。そして、多職種でコミュニケーションを取り連携し、試行錯誤しながらもそれぞれの個人に合わせた食事形態などの対応を図った。

3. 業務マニュアルの検討

厨房内作業の効率化・衛生管理の徹底・食中毒発生防止については、課内で声掛け、話し合いながら見直しをすることができた。

随時、業務マニュアルを検討し、衛生管理をしっかりと行い、働きやすい環境を整えた。また、掃除チェック表等を作成し活用しながら衛生管理の徹底・食中毒発生防止に繋がった。調理員は安全で美味しい食事提供を行えた。

4. 他職種連携・協力による情報共有と栄養的サポートの強化

委員会、担当者会議、厨房内会議等を随時開催し、情報発信や意見交換を行った。多職種とコミュニケーションを密にとり情報を共有し、入居者一人ひとりの栄養ケアマネジメントを行い、嚥下状態や栄養状態に合わせた食事提供で利用者の健康維持向上に繋がった。また、多種職と連携しながらその方の身体レベルや状況に応じた栄養補助食品やトロミの調整、自助具の選別や検討も行った。

5. 自然的排便に近づけるための食品やオリゴ糖での排便コントロール

薬のみでの排便コントロールではなく、献立にヤクルトやヨーグルト、バナナを入れ、希望者にはオリゴ糖の摂取で排便サポートを行った。

6. 栄養士・調理師（員）会議

月1回開催し情報伝達や意見交換を行った。給食については、季節と行事を感じられ、彩りにも配慮し、楽しく、美味しく、安全な食事や定期的に手作りおやつを日々提供した。また、利用者の食事摂取量や食事形態を多職種連携にて情報交換を行い対応することができた。さらに、栄養補助食品等の検討を行い提供することができた。

VI. 各種委員会

1. 安全衛生委員会

職員がより働きやすい職場環境づくりに向けて、産業医と連携しながら、外的な環境のみでなく、ストレスの解消などの内的な取り組みを行った。職場環境の快適性、安全性などのチェックを毎月1回行い、快適な環境作りのために地域密着型の脱衣室の滑りやすい床の張替えやエアコン修理等を実施した。

(1) 健康診断

5月に実施、11月に夜勤者健診を実施した。
介護職員の腰痛アンケートを5月と11月に行った。

(2) ストレスチェック

1月に実施した。

2. 安全対策委員会（安全対策委員会、リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会）

各委員会を毎月定例的に開催し、状況報告と課題について話し合い入居者が安全で楽しく暮らせるよう努めた。新型コロナ感染症については、5月から5類に移行したが継続して感染予防対策を行った。しかしながら、3回クラスターになってしまった。

入居者健診を令和5年11月に実施し、健診結果をご家族に送付した。

(1) 安全対策委員会

入居者健診を実施し健康状態を把握することで、安全で適切かつ質の高いケアを提供できた。看取りに関しては適宜、担当者会議を開き多職種連携のもと実行することができた。また、看取りに関する指針を作成した。この指針に基づき今後も家族に寄り添う看取りを行う。

(2) リスクマネジメント委員会

発生状況を上半期と下半期をまとめることで、事故の件数を具体的に減らす対策が取れた。集計結果をもとに研修の企画や、職員間で事故を減らす具体的な対策を取ることができた。

① 事故・ヒヤリハット発生件数 ※峰林荘（含む短期）

事故 117件 ヒヤリハット 26件 <合計 143件>

(地域密着 事故 62件 ヒヤリ 14件/ユニット 事故 55件 ヒヤリ 12件)

②発生状況

事故内容	
転 倒	46
転 落	29
表皮剥離、出血、 内出血等発見	17
誤薬	11
未投薬	10
誤食	5
打撲	6
器物破損	4
徘徊	4
その他	11

発生時間帯	
6時～11時	68
12時～17時	34
18時～24時	20
0時～5時	11
不 明	10

発生場所	
居室	62
ホール	48
浴室	10
トイレ	14
廊下	4
その他	5

(3) 身体拘束廃止委員会

入居者の自尊心を尊重した制限のない暮らしづくりに向けて努力した。

身体拘束具の排除はもちろんのこと、生活空間、動作、精神的な制限などが無意識に行われていないか、毎月、身体拘束廃止委員会で現状報告や課題を揚げ検討した。

令和5年度に身体拘束を行った入居者はいなかった。

(4) 虐待防止委員会

入居者の尊厳を守り安全で楽しく過ごすことができるよう毎月、虐待防止委員会で現状報告や課題を検討した。残念ながら言葉による虐待と思われる案件が1件あった。

3. 見守り機器等活用委員会

機器を安全かつ有効に活用するために、毎月の運営会議の中で委員会を開催した。

機器に起因する介護事故、ヒヤリハットの報告はなかった。また、機器のチェックを月1回以上、各ユニットで実施した。

実習を含めた研修をメーカーと連携して令和6年1月から2月に4回実施し、38名の看護師及び介護職員等が参加した。同時に機器のメンテナンスを行った。

4. 感染症予防対策委員会

新型コロナウイルス感染症は5月から5類に移行されたが、5月に地域密着型でクラスターになったことからゾーニングの設定など感染防止の対応について検討した。その後もユニットでも2回クラスターになったため、対応協議のため29回の委員会を開催した。

このことから、令和5年度も年間を通しての面会制限を実施することになり、入居者の家族に理解を求めた。

5. 研修委員会

(1) 施設内全体研修

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、一部の研修が資料配布になった。当日の研修に参加できなかった職員には YouTube の動画配信で研修内容を共有した。

月	日	研 修 名	参加人数
4		職業倫理・守秘義務・権利擁護 高齢者の虐待①	資料配布
5	10	法人理念及び運営方針 ハラスメントについて	39名
6	26	地域合同避難訓練（日中想定火災、自然災害）	20名
6	29	感染症①（予防関連） 高齢者の身体拘束①	22名
7	12	事故防止①（緊急時対応・急変時対応）	26名
8	9	事故防止②（リスクマネジメント・ストレスマネジメント）	20名
9	13	接遇・マナー（プライバシー） 健康について（職員の健康管理・腰痛予防）	26名
10	17	感染症②（インフルエンザ等）	23名
11	8	褥瘡防止について 高齢者の食事、口腔ケア	24名
12	4	地域合同避難訓練（夜間想定火災、自然災害）	20名
12	13	高齢者の虐待②、認知症について 高齢者の身体拘束②	29名
1	10	事業継続計画（BCP）	20名
2	14	看取り及びメンタルケア	24名
3		次年度に向けて	資料配布

(2) 外部研修

延べ57名の職員が参加した。キャリアパスに沿った研修に職員が参加しやすい環境づくりを目指したが、一部の職員の参加となった。

研修名	主催	研修日	参加人数
令和5年度社会福祉施設等新任職員研修	県社会福祉協議会	R5.4.20（木）	3名
新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後の高齢者施設における感染対策研修会	県福祉部長寿福祉課	R5.5.25（木）（オンライン）	1名
令和5年度茨城県認定調査員新規研修（第1回）	守谷市役所	R5.6.6（火）（オンライン）	1名
介護職員処遇改善加算等実績報告書作成セミナー	県老人福祉施設協議会	R5.6.6（火）（オンライン）	2名
令和5年度コーチング研修 A～リーダーに必要なスキルを身に着ける～	県社会福祉協議会	R5.7.20（木）9：50-16：00（オンライン）	1名

令和5年度茨城県主任介護支援専門員更新研修	県介護支援専門員協会	R5.7.28(金)～ R5.12.21(金) (オンライン)	1名
ドクターメイト研修会「施設長必見!!なぜこれからは介護職員にも医療知識が求められるのか」	県老人福祉施設協議会	R5.7.5(水)(オンライン)	1名
「介護現場における感情(怒り)のコントロール術」セミナー	HAPPY&SMILECOLLEG	R5.7.6(水)(オンライン)	2名
認知症介護基礎研修 e-ラーニング	社会福祉法人東北福祉会	R5.8(eラーニング)	2名
外国人技能実習制度における技能実習責任者講習	㈱ウェルネット	R5.8.10(木)	1名
施設長・管理者研修	県老人福祉施設協議会	R5.8.24(木)	1名
ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	R5.8.31(木)～ 9.1(金)(オンライン) (eラーニング)	1名
令和5年度茨城県看護職員等認知症対応力向上研修	公益社団法人茨城県看護協会	R5.9.22(金)(オンライン)	1名
介護福祉士国家試験受験対策講座	県社会福祉協議会	R5.9.26(火)～ R6.1.28(日)録画配信	1名
ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	R5.9.28(木)～ 29(金)(オンライン) (eラーニング)	1名
令和5年度第1回普通救命講習会	常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	R5.9.7(木)	1名
科学的情報システム「LIFE」に関する研修会	県老人福祉施設協議会	R5.10.13(金)	1名
茨城県・栃木県における外国人材/多文化共生の現状・課題・取組等に関する調査最終報告セミナー	JICA 筑波	R5.10.13(金) (オンライン)	2名
地域ネットワーク・コミュニティ 人的資源管理の実際	公益財団法人介護労働安定センター茨城支部	R5.10.24(火) (オンライン)	2名
令和5年度個人情報保護研修	県社会福祉協議会	R5.10.24(火) ～R6.1.4(木)録画配信	1名
令和5年度リスクマネジメント研修 B	県社会福祉協議会	R5.10.26(木) (オンライン)	1名
ユニットケア管理者研修	日本ユニットケア推進センター	R5.11.14(火)、15 (水)(オンライン)	1名
介護職員処遇改善加算個別訪問相談	公益財団法人介護労働安定センター茨城支部	R5.11.21(火)	3名
看護職のためのユニットケア研修	日本ユニットケア推進センター	R5.11.28(火) (オンライン)	1名
令和5年度労務管理とコンプライアンス研修	県社会福祉協議会	R5.12.1(金)～ R6.2.9(金)録画配信	1名
令和5年度第2回普通救命講習会	常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	R5.12.14(木)	1名

令和5年度第2回普通救命講習会	常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	R5.12.14(木)	1名
介護で使う日本語オンライン研修	いばらき中央福祉専門学校	R6.1.18(木)、2.1(木)、2/15(木)(オンライン)	1名
魅力ある職場づくりのための経験交流会	介護労働安定センター	R6.1.22(月)(オンライン)	3名
ユニットリーダー研修(実地研修)松籟荘	日本ユニットケア推進センター	R6.1.23(火)～1.26(金)	1名
安全衛生研修会	県老人福祉施設協議会	R6.1.24(水)(オンライン)	1名
ユニットリーダー研修(実地研修)ケアステーション藤が原	日本ユニットケア推進センター	R6.1.30(火)～2.2(金)	1名
ヘビークレーム対応研修会	県老人福祉施設協議会	R6.2.2(金)	1名
施設長・管理者研修(介護報酬改定について)	県老人福祉施設協議会	R6.2.27(火)(オンライン)	1名
令和6年度介護報酬改定のポイント	㈱エイデル研究所	R6.2.5(月)(オンライン)	9名
2023年度第2回看護職のためのユニットケア研修	日本ユニットケア推進センター	R6.2.6(火)(オンライン)	1名
看取りケア研修会	県老人福祉施設協議会	R6.2.8(木)	1名
介護職員処遇改善加算オンラインセミナー	㈱TMC(県老施協)	R6.3.15(金)(オンライン)	1名

(3) 講師依頼

JICA 筑波から「特定技能・介護に関するセミナー」の講師依頼があり、片桐真奈美理事長が峰林荘で働くモンゴル人活躍事例の紹介を4月に行った。

6. 褥瘡予防委員会

介護員とおむつ交換時の状態等の情報共有を行い、褥瘡の早期発見や状態把握に努めた。毎日の医務カンファレンスにおいては、利用者一人ひとりの情報・状況を看護師が報告することで、全体的には改善(減少)傾向にある。

褥瘡の写真を定期的に撮影し、介護記録システム「ケアカルテ」を利用し、時系列による評価を行った。画像であり情報の共有が均一化された。

栄養面でのサポートとして、入居者の嚥下状態に合わせて提供エネルギー量を個別で見直しをし、嚥下困難な方には、栄養補助食品等の検討を多種職で行ないながら、栄養を強化し褥瘡予防に繋げた。

7. 広報活動委員会

令和5年秋号の広報誌を発行した。ホームページや旧ツイッターの随時更新をして新型コロナウイルス感染症の情報提供や施設の感染対策の状況などのお知らせをした。

8. 苦情処理委員会

・令和5年度 苦情件数 2件

- ① 峰林荘の感染対策の説明不足との指摘を竜ヶ崎保健所を通して家族の苦情を受けたため、家族全員に電話と文書で対応についての説明と謝罪を行った。
- ② 通所サービスでの怪我（表皮剥離）について、職員が家族に説明した怪我の具合より実際はひどかったとの指摘があったため、訪問し家族に説明が足りなかったことと事故防止の対策について説明し謝罪した。

・2月2日 ヘビークレーム研修参加（水戸）

9. 事業継続計画（BCP）委員会（①BCP委員会②防災委員会）

（1）BCP委員会

運営会議の中で委員会を開催した。事業継続計画の更新はできなかった。災害時に必要な備品の確認及び整理をした。

（2）防災委員会

今年度も感染予防のため最少人数の職員で2回（日中・夜間想定）実施した。訓練時には消防署職員立ち会いにより、消防署への通報訓練及び消火器による消火訓練並びに避難誘導訓練を実施した。

・避難訓練

6月26日（月）〔日中想定〕消防署職員派遣あり

12月4日（月）〔夜間想定〕消防署職員派遣あり

Ⅶ. 峰林荘通所介護事業所

1. 実施状況

利用者と日々コミュニケーションを積極的に取りながら、些細な変化に気付く体制を取っている。90歳以上の利用者が多いが体調などに合わせたサービスを提供することができた。また、職員間で口頭や申し送りノートにて情報共有を行うことができ、他に利用している事業所や家族には身体状況の変化などがあった場合には、情報を提供し連携を図った。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行になったことにより、ボランティアの受入れを再開することができ、楽しい時間を過ごすことができた。毎月担当職員を中心に利用者が楽しめる内容のレクリエーションや行事を計画・実施した。マンネリ化しないように新しいレクリエーションは、情報誌やネットを活用し取り入れた。また、業務の見直しやレクリエーションの内容等検討し、利用者の笑顔が見られるように努めた。

前年度に比べ、今年度は新たな居宅事業所からの新規の依頼も増え、稼働率を伸ばすことができた。更なるサービスの質の向上を図り、数ある通所介護事業所から選ばれる事業所を目指したい。

2. 通所介護事業所地域密着型運営推進会議（会議回数2回）

6か月に1回、利用者のサービスの質の確保・向上を図るため、守谷市介護福祉課職員、峰林荘地区担当民生委員、利用者家族代表者参加のもと会議を開催し、状況と取り組みや特色の報告を行うとともに、皆様よりご意見等をいただいた。

3. 利用状況

（1）月別利用者実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
31	32	33	33	31	32	33	33	32	31	30	29

（2）月別利用者延べ人数・稼働率

年	令和5年										令和6年			合計
営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
人数	285	331	302	337	322	310	329	321	311	271	252	268	3639	
稼働	63.3	65.7	64.5	72.0	66.3	66.2	70.3	68.6	69.1	62.7	56.0	57.3		

平均利用延人数 303 人・平均稼働率 65%（前年度 274 人・61%）

（3）年齢別利用者数（令和6年3月末）

区分	男	女	計	割合 (%)
～64	0	0	0	0
65～74 歳	0	2	2	7
75～84 歳	1	5	6	21
85～94 歳	3	13	16	55
95 歳以上	2	3	5	17

（4）行事への取り組み

季節ごとに季節感の感じられる行事企画を立て、「見る」「食べる」「体験する」を基本コンセプトとして取り組んだ。

月	内 容	日常の取り組み
4	花見会・あけぼの山にチューリップ見学	藤の花制作
5		
6	あやめ見学	七夕飾り
7	七夕	睡蓮と金魚の飾り制作
8	夏祭り	提灯制作、熱中症ポスター制作
9	敬老会	フォトフレーム制作、ビンゴ、二人羽織
10	運動会	菊の花制作 DVD鑑賞

11		クリスマスリース制作
12	クリスマス会	お正月の飾り制作
1		ポインセチア制作
2	節分	雛祭り飾りの制作
3	雛祭り・お花見散歩	桜の制作

定例行事 書道、手作り昼食・おやつ、華道クラブ、各ゲーム

カレンダー作り・誕生会－毎月 モビール制作－季節ごと（年4回目安）

学習療法（脳トレ等）－毎日 避難訓練（年2回）

Ⅷ. あかり居宅介護支援事業所

1. 実施状況

できる限り利用者の自立やその人らしい暮らしを目指し支援を行った。担当者会議や退院時カンファレンス等に参加し医療や多職種との連携を図った。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との困難ケース等の地域ケア会議に積極的に参加した。事業所の体制を評価される特定事業所加算を取得するために、週1回定期的に会議を行い事業所としての質の向上に繋げた。直接来荘された方や電話での介護の悩みや心配事の相談に対応した。

2. 利用状況

(1) 介護給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	117	120	121	121	122	125	125	120	125	124	124	121

(2) 介護予防給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	28	27	27	29	26	25	26	26	27	27	28	28

3. 守谷市要介護認定の更新調査委託業務

6月 1件 8月 2件

Ⅸ. デイサービスセンターゆうゆうケア・ワン

1. 実施状況

5月より新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置付けられたが引き続き、感染症拡大防止対策を徹底し運営を行った。

年間の延べ利用者人数・稼働率においては、やはりコロナ関係での休みは多く、施設入所、入院による利用停止などが重なり延べ人数の減少が続いた。一方、年明けより見

学や体験利用の希望者も多く、契約に繋がり3月の時点で利用者の増加傾向にある。

職員の動きでは、2月・3月と定年等の理由で退職者が続き、今後、新体制としてのスムーズな運営をするために職員が一丸となり利用者へのサービス向上に向けて努力が必要だと感じている。

2. 利用状況

(1) 登録者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
43	43	43	44	44	45	47	47	45	44	44	44

(2) 年齢別利用者数（令和6年3月末）

区分	男	女	計	割合（%）
65～74歳	0	2	2	5%
75～84歳	7	11	18	41%
85～94歳	6	13	19	43%
95歳以上	1	4	5	11%

(3) 利用者延人数

年	令和5年									令和6年			合計
	営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
延人数	338	348	355	350	385	352	329	336	342	308	348	392	4183
稼働率	71.0	68.0	71.8	70.8	75.0	71.2	66.6	68.0	72.0	67.5	73.2	79.3	71.2%

平均利用延人数 348.5 人・平均稼働率 71.2%（前年度 388 人・79.3%）

3. 行事・レクリエーション

新型コロナ感染症が5月から5類に移行したが引き続き、感染症拡大防止対策の徹底とリスクを十分考慮し、安全を第一に考えた計画を行った。

中止していたボランティアの受け入れを12月から再開し、地域の方々との交流も楽しんでいただくことができた。また、季節ごとの行事やイベント、日々工夫を凝らしたゲームを企画し実施した。

11月3日は開所20周年を迎え、3日、4日はお祝い行事を楽しんでいただいた。書道教室、おやつレクリエーション、民謡体操、音楽レクリエーション、カラオケ、季節の工作、誕生日会などの活動を継続的に行った。

今後も感染症の状況に合わせて、ボランティアの方々への受け入れや各行事・趣味活動・レクリエーション活動を提供し、利用者一人ひとりの満足度に繋げられる取り組みを行っていく。

月	行事・レクリエーション	作成物・その他
4	・誕生日会 ・お楽しみ会（職員ダンス） ・おやつレク（あんこ巻き） ・紙芝居 ・つつじ見学 ・書道教室	壁面飾り「菜の花」「藤の花」 「さくらんぼ」
5	・お楽しみ会（職員演芸） ・誕生日会 ・紙芝居 ・音楽レク（ハンドベルなどの楽器演奏）・	壁面飾り「あじさい」「さくらんぼ」 鯉のぼりつるし飾り工作
6	・フラワーアレンジメント ・誕生日会 ・紙芝居	七夕飾り（飾り工作・短冊） 壁面飾り「あじさい」「ゆり」 小物入れ工作 ・レイ工作
7	・夏祭り ・誕生日会 ・紙芝居	壁面飾り「海の中の魚たち」 ビーズ小物工作
8	・音楽レク（ハンドベル） ・誕生日会 ・紙芝居	壁面飾り「海の中の魚たち」
9	・敬老お祝い会（感謝状授与・演芸） ・誕生日会 ・音楽レク（楽器演奏）	種まき ・だるま、お花工作 ・工作（かご作り）
10	・おやつレク（さつまいも蒸しパン） ・ミニ運動会 ・紙芝居	秋の壁面飾り 干し柿工作
11	・20周年記念行事（11/3・4） ・おやつレク（パンケーキ） ・音楽レク（楽器演奏） ・書道教室 ・誕生日会 ・紙芝居	クリスマスツリー飾りつけ （点灯式） X'mas ツリー工作
12	・クリスマス会（12/19・20） ・音楽レク（劇「三匹のこぶた」・ハンド ベル・合唱・ダンス等）・柚子湯・誕生日会 ・紙芝居 ボランティア「ピース&ウエル」	冬の壁面飾り「辰と牡丹」「さざん か」 X'mas リース&ツリー工作
1	・おやつレク（おしるこ） ・誕生日会 ・紙芝居	壁面飾り「さざんか」「牡丹」 干支の置物作成（辰）
2	・節分行事 ・誕生日会 ・ボランティア「ピコ」 ・月岡様 ギター演奏	流し雛工作 吊るし雛展示見学（守谷市内）
3	・おやつレク（桜餅） ・紙芝居 ・誕生日会 ・月岡様 ギター演奏	春の壁面飾り「富士山と桜」 「枝垂れ桜」

※毎日のレクリエーション活動については、感染症対策を行いながら状況に合わせ趣向を凝らしたゲームなどを実施した。